

## 【フリートーク:令和 5 年度動植物調査の結果について】

4月21日(日)に開催した環境ひろばでは、「令和5年度動植物調査の結果について」をテーマにフリートークを行いました。本調査は、市内の動植物の生息・生育状況を把握することを目的に市が実施した調査であり、前回の平成27年度調査から8年ぶりとなりました。

調査は、専門員により市内7か所の公園や緑地にて行われ、調査地を2か所拡大した影響もあり、新たに580種を確認し、全体で1,319種の動植物が確認されました。そのうち、約9割は植物と昆虫類であり、希少種は、国レッドリストや都レッドリストからそれぞれ18種、57種を確認しました。

また、外来種オオカワヂシャなどの緊急対策の必要性や、萌芽更新された林での昆虫類の生息への好影響も明らかになりました。また生物多様性の普及教育においては、市内の歴史や文化との関係性も含めた取組が専門員から提案されました。

上記調査結果の報告を受け、環境ひろばでは、動植物環境に係る意見や提案などが多数挙がりました。



動植物調査の報告会

## (外来植物の駆除などの課題の対策)

- ・市民が外来種の広がりや懸念などの情報を挙げた際に、必要に応じた駆除施策へとつなげたい。
- ・公表にとどまらず、本調査結果をどのように生かしていくのか、環境基本計画に基づいた、環境の改善に資する、市民と市の対話のプロセスがあると良い。
- ・市民による環境維持活動を今後も継続、強化していくのが大切である。外来種(調査結果のオオカワヂシャ、ガビチョウなど)の定点観測も必要なのではないか。また、外来種を活用するという視点で検討をしてもよいのではないか。
- ・街路樹、市内施設の植栽などの強剪定について、景観に悪印象を与えることや、植物への悪影響が懸念されるなどがあるため、剪定期のタイミングを含めて見直しが必要ではないか。
- ・生物への興味関心を損なわないように、動植物の採取方法・ルールと生物多様性の保全を両立するための環境教育を市内中学生まで広げるべきではないか。
- ・遺跡などの文化の保存と動植物の保全に力を入れていただきたい。
- ・市内の希少な動植物を中心に広報に力を入れていただきたい。市報やイベントのほか、新市庁舎への環境活動や生きものの写真展示などもよいのではないか。

市では、本調査結果を緑と公園課などの関連部署、東京都などと情報共有の上で対策を検討していきたいとのことです。また、6月2日(日)開催予定の環境基本計画市民ワークショップ又は同月16日(日)環境ひろばにて、今後の新たな施策の体系を提示しつつ、生物多様性の保全と活用に向け、市だけではなく、市民と共に何ができるかを具体的な取組について意見収集したいとのことでした。さらに街路樹の剪定等については、これまでは維持管理のコストを重視してきましたが、近年は、生きものの生息や雨水涵養などグリーンインフラの考え方が取り入れられ、少しずつ変わってきており、多角的な視点でのまちづくりへの転換期にあるとの示唆がありました。今後も「緑と水の自然豊かな国分寺」の実現に向け、魅力的で持続可能なまちづくりと生物多様性の保全を目指し、本調査結果を今後の生物多様性地域戦略の策定につなげて、令和7年3月策定予定の第三次国分寺市環境基本計画にまとめる予定とのことです。

## 【国分寺姿見の池緑地保全地域の植物相調査について】

### 湿地で希少種(絶滅危惧ⅠA類)：オグルマ確認！

植物相調査は、東京都が平成25年度に「東京都保全地域における生物多様性保全のための自然環境調査」を実施し、その後、東京都環境局管轄ボランティア団体「国分寺姿見の池緑の会」が令和元年から毎年実施しています。

当地域は、保全地域に指定され東京都条例により、  
在来植物の持ち出し禁止・園芸種の持ち込み禁止が要請されています。

特に今年度からは、東京の緑を「まもる」「育てる」「活かす」取組の一環として、  
“希少種：絶滅危惧”の保護・拡大、“外来種・キショウブ他”の除去を実施します。

なお、当保全地域には、キンランなど多数の希少種が植生していますが、持ち出し禁止です。

当保全地域には、248種の在来種植物が植生しています。今年の特徴は、

- ① 令和元年から始まった「ナラ枯れ」が昨年をもってほぼ収束、コナラ・クヌギの新葉が確認できた
- ② 絶滅危惧ⅠA(CR)：オグルマの生育が、確認できた

※オグルマは、キク科オカオグルマ属で、日本に野生する植物。本州から沖縄までの山地などの  
湿地に生育する。(文責 国分寺姿見の池緑の会 白木昭憲)



希少種 オグルマ

## 【「野川源流スクール」が始まりました】

国分寺市を流れる唯一の河川「野川」を自然豊かな美しい川に！  
河川整備の早期実現に向け、気運の醸成をはかるため、市とNPOと協働で取り組んでいる「野川源流スクール」。3年目となる  
今年も4月23日(火)の市立第四小学校から始まりました。  
今年度は1校増えて、第一、第三、第四、第七の4小学校、4年生が対象の一日コースの授業です。

1時限目は、野川の概要や成立ちについての座学、2～4時限目は、  
野川の散策、5～6時限目は4～5人の班ごとに、A0版の地図上に授業や散策で気づいたこと、感じたことなどをポストイットに書いて貼り、発表を行うガリバー地図作りです。ポストイットや感想文には、  
野川の始まり(上流端)を見た感激、湧水に触れた感触、コンクリート三面張りの現状、そして、水遊びのできる、生きものにとってもっと住みやすい川にしたい、そのために自分たちもできることに取り組みたいなど、さまざまな思いが綴られていました。



野川源流スクールの様子

NPO法人まちづくりサポート国分寺 龍神 瑞穂

## 環境ひろばのお知らせ

次回：6月16日(日) 午前10時～正午 市役所 書庫棟会議室(戸倉1-6-1)

『環境ひろば』は、環境(保全、回復、創造)について市民・事業者・市が自由に意見交換を行う場です。皆さんのご参加をお待ちしています。

(あとがき) 3月24日(日)に開催された令和5年度動植物調査の報告会は、クイズなども含み好評だったとのことです。今後も市内の生きもの観察会のイベントや環境ひろばなど、市民の日々の身近な動植物の発見を含む気づきを共有できる機会がありますので、みなさんのご参加をお待ちしております。(神長)

国分寺市環境ひろば  
事務局

国分寺市 まちづくり部 まちづくり計画課  
〒185-0012  
国分寺市本町4-1-9 本町クリスタルビル4階

TEL：042-314-9005(直通)

FAX：042-323-9060

Eメール：machikeikaku@city.kokubunji.tokyo.jp